

2016年度事業報告

【1】就労継続支援B型「コッペ」の運営状況

① 開設状況

開設日数は、251日／年、利用者延べ数は、3,275人となっています。コッペの定員としては、20名。在籍は16名です。一日当たりの平均利用者数は、12.9人となります。

それを支えるスタッフは、常勤4名、パート6名です。それにコッペショップを支えるメンバーの方々、区役所販売等を手伝っていただけるボランティアの方々等に、コッペの運営に協力して頂きました。土日のイベント販売時には障害メンバーも参加してもらえるとありがたいです。

今年度は、多くのメンバーにも外へ出てもらおうと、配達・販売にもこれまで行っていなかったメンバーも参加してもらいました。

② 売り上げ

パンとクッキーの売り上げは、約2,143万／年（仕入れ販売約240万を含む）、月平均178万となっています。2015年度の売り上げとほぼ同じ数字になっています。

再度コッペのクッキーをどんなところで売っているのか皆さんにも確認してもらおうと思い整理してみます。その中で、あんなところこんなところへも売っていけるのではということをご提案してもらえればと思います。

* 日常的に障害メンバーも販売に行っているところ 下線は新規

毎週 サテライト（デイサービス）・宮城県手をつなぐ育成会

月2回 台原老人福祉センター エマオ・マルベリー・杜の伝言板ゆるる
みやぎNPOプラザ・すぴか ジャパンケア萩の町

月1回 DNP東北

* 障害メンバーだけで配達に行っているところ

ひこ・D T S コーヒー・中島病院・るーぷ

* 県内で販売して頂いているところ

ヘルシーハット・わらしべ者西多賀工房・横田や・クロワッサンの店・らべんだあ

・バラライカ・菜の花村・田舎郡東北村 等

大学生協 川内・文系・星稜・理薬・宮城学院・宮城大学

1/f（エフブンノイチ）

・福祉事業所のアンテナショップとして、NPO法人桑の木・みどり工房若林・アトリエソキウス・みやぎセルフ協働受注センターの皆さんと一緒に運営しています。ショップ全体の売上としては、月平均12万ほど。クッキーの売上としては平均12000円ほどになります。月曜日から金曜日の11時～16時までの営業なのが弱点ですが、場所は街中です。宣伝をよろしくお願いします。

* 売り上げベスト5

あいコープみやぎ 大学生協 みやぎセルフ協働受注センター

ヘルシーハット 菜の花村

* 発送

つながりの家（石川県） おにつこハウス（埼玉県） カフェ・ビーンズ（南相馬市）

ぐりんぴいす（室蘭） むつみ作業所（御殿場市） ショップはなみずき（静岡市）

あしたや（多摩市） ミヤココポーレーション（東京） きょうされん

ポラリス（山元町）

ワタリス（亶理町）... 3月には九州のグリーンコープさんからの注文をワタリスさんが仲介して大口の注文を頂きました。一度はカフェも尋ねてみたいものです。

*市民センター

東部ふれあい祭り（東部市民センター） 東中田市民センター ソレイユ販売委託
泉中央市民センター 高砂市民センター 福室市民センターまつり
松陵市民センター Mフェス（宮城野区中央市民センター）

*シルバーセンター 月1回

*区役所・文化センター 平均月2～3回

*B-NETサポーター

現在の会員数 コッペ39名 事務局34名 中山26名 99名

*福祉事業所共同開発商品

あがいんセット

横河電機様の株主総会の手土産として、200セット注文を頂きました。日常的な販売はまだですが、情報交換等役立てています。

杜のお菓子セット

みやぎセルプを通じて、これも株主総会の手土産として、1500セット注文を頂きました。

*保育所

そらのご保育園 すみれ保育園

*おたのしみパン会員 25名ほど

③ 訓練等給付費収入

2016年度は2,557万円ほどとなりました。前年度より30万上がりました。人数・給付費の単価も変更がなく、ほぼ前年並みの数字になりました。

④ 工賃

障害メンバーの給料は、最高で79,000円最低11,000円、平均約53,000円となっています。昨年とほぼ同じです。B型の工賃としては県内で3番目ぐらいです。

⑤ ミーティング

今年度も月・水にペーパーを作り、全員で行うようにしました。普段コッペに来られない方にもコッペの日常がよくわかるのではないかと思います。

⑥ コッペショップ

パンに関しては売上の中でもショップが重要な位置をしめています。春・秋のセール・バレンタイン・ホワイトデーセールに加え、第一木曜日をコッペの日として定期的にセールを行いました。

ショップということではありませんが、コッペのロゴを入れたシールを2種類作成しました。

⑤ ホームページ

ホームページそのもの更新はできていませんが、フェイスブックは活用しています。主にイベントの告知等で活用しています。麦の会ページへの「いいね」は250人となっています。

写真・メニュー表も新しくしました。また、貸借対照表なども見る事が出来るようにしました。

⑥ 放射能検査

みんなの放射能測定室でとてとに検査に出しました。検出限界は10ベクレルでいずれも不検

出となっています。今後も定期的に検査に出し、安全性を確かめます。

グリーンコープに商品を納品する際には提出を求められました。

原発に対しては、食品の安全という面でも反対の運動に協力していきます。

⑦ 食品表示・衛生管理

法律が変わり、栄養成分表示の義務付け等、現在の表示から変更する必要があるため、ラベルプリンターを新しく導入しました。すでに稼働しています。栄養成分表示は、2017年度以降、検査に出し変更していく形になります。

また、コンサルをお願いして、作業場の衛生チェックを3月に行いました。その指摘を受けて、ペーパータオル・液体せっけん・アルコール消毒液の導入を行いました。環境のことを考えるとペーパータオルには抵抗があったのですが、より厳しい安全管理が求められている昨今、コンサル等の指導も受けながら、今後とも衛生管理の向上に取り組まなければいけません。そのためには経費がかかります。

⑧ レクリエーション・研修

- ・共同連東北ブロック交流会 7月9日(土)・11日(日) 福島県南相馬市
- ・共同連全国大会 9月23日(金)・24日(土)・25日(日) 大阪府堺市
- ・一泊旅行 6月24日(金)・25日(土) ハイルザーム栗駒
- ・いちえさん食事会招待 7月3日(日)・12月11日
- ・楽天招待 ゴールドマンサックス証券様より(宮城県社協を通じて)
協賛企業様より(東北福祉大を通じて)

【2】雇用関係について

現在のコッペの収支では、全員と雇用関係を結ぶことは難しいため、就労継続支援B型のままで、出来る人から雇用を結ぼうという方向でこれまで進めてきました。

しかしながら、新たに申請を出したところ、就労継続支援B型の対象者は雇用できないのではないかと労働局からの指摘があり、これ以上、就労継続支援B型のまま雇用関係を結んでいくことは難しいと判断し、対象となっていた人との雇用関係を打ち切りました。

共に働く場を作りたいというコッペとしては苦渋の判断でしたが、制度上では基本的に雇用にはなじまないとされているもので、これ以上、このまま進めるわけにもいきませんでした。

【3】仮認定NPO法人格から本認定へ向けて

より信頼性の高いNPO法人として認められることと、税の優遇措置がとられる認定NPO法人格の取得をめざし、仮認定NPO法人の申請を2015年3月30日付で、認証がおりました。

2017年度に本認定の申請を行うにあたり、100名以上の寄付者・賛助会員がいることが条件となります。おかげさまで2015年度は108名、2016年度は117名となっています。

安定して条件をクリアするためにはさらに会員の増加が必要です。会員皆さんの声掛けを改めてお願いします。

なお、正会員は22名となっています。

【4】理事会

計10回行いました。しかし、今年度も最近参加する人が限られています。コッペでは、みんなで運営を考えていこうというスタンスで、理事会には都合がつく限りみんなに参加してもらっています。

売上・収支状況・販売・行事予定・会員の状況・ショップについてといった定例の議題のほか、麦の穂の発行、障害者虐待防止法の学習会・障害メンバーと雇用関係や新年度の体制について話

し合いました。

コッペにとって重要なことを話し合っています。出来るだけ多くの人の参加をお願いします。
新年度の体制について話し合われた内容は以下の通りです。

『*コッペの現状

○ショップでも障害メンバーが働ける必要...作業場が狭い。

以前から課題として挙げられていたことでもあるが、2名が増えることを踏まえ、解決する必要

○外販にももっと出ていく必要・・・もっと一緒に販売・配達に行く

○営業する必要・・・売り上げは伸びていない。ここ数年、まともに営業ができていない。

むしろこのままでは売り上げは落ちていくことは容易に想像できる。

○売り上げの落ち込み・・・工賃を下げざるをえない場合も。コッペをやってきた意味がなくなる。

○現実問題としては、工賃の落ち込みは給付費の減少にもつながる＝補助金の減少

現在、基本報酬の他、目標工賃達成加算があり、一日一人当たり、7420円の給付費。

工賃が下がるとその加算が亡くなり、6730円になる。690円/日の減額。

営業日230日/年とすると、約15万円/年。実出席率12人とすると、約180万円/年の減額となる。

現実的なコッペの運営にも大きくマイナスになる。

○今後5年10年を考えてもこのままではいけない

*次年度の体制について

○常勤スタッフを1名増員し、人員の1名を、製造の他、ショップ兼外販スタッフとする。

障害メンバーと一緒にお店番・外販をする。さらには、営業にも出してもらう。

店内POPの作成 保育所・ディサービス・NPO関係の事務所など

日常的なチラシ撒き フェイスブックでの発信

あいこーぷ等、すでに商品を卸しているお客さんにも新商品や企画品の売り込みに行く

例えばだが、おにみそクッキーを、節分企画で提案するとか

早番・中番・朝・夕方・繁忙期（特注があるときなど）には、製造にも入る

○現在のショップ販売当番の形態は変更し、区役所販売等外販があるときや繁忙期に、ショップのお手伝いを募る形にする・・・その際のショップの「給料」は現在の形で計算する

*鈴木さん、庄子さんには、今まで通り入ってもらえればと思う。

*現状では、ショップ当番の人に「支援」をお願いするのは、頼みづらいし、頼まれる方もつらいと思う。

○近い将来的には、送迎も検要討か。

*グループホームの問題も考えたい。

○麦の会として「多角」経営も必要か...みんな年をとる...「生活する場」の検討

○上記の問題にかかわるが、親が子から「自立」することを、親が元気なうちに考えてほしい。』

【5】会員（3/31現在）

正会員 22名 賛助会員 117名 計139名

【6】社会教育の推進

会報「麦の穂」の発行 計4回 それぞれ200部前後

2016年 6月 8月 11月 2017年2月

賛助会員の確保のためにも会報は大切です。しっかり定期的に発行したいと思います。
編集を担当してくれる方を募集中です。

【7】NPO法人フルハウスとの連携

コッペの直接の運営母体は麦の会ですが、障害者総合支援法上は、NPO法人フルハウスが運営する形になっており、訓練等給付もフルハウスを通じて入ってくる仕組みとなっています。給付費の請求事務は、もとなるデータはコッペで作成し、国保連への請求はソレイユから行っています。それに対して月1万円の事務手数料をソレイユに支払いしています。

さてNPO法人フルハウスを構成するフリースペースソレイユとですが、12月3日「田んぼカフェソレイユ」をオープンしました。

【8】NPO法人共同連並びに東北ブロックについて

NPO法人共同連は、コッペの立ち上げからお世話になってきました。全国の共に働く事業所の団体です。

共に生き働く社会の実現は自分のところだけではできません。各地の仲間とともに取り組んでいく必要があります。

今後とも大会・研修会とも、多くのメンバーで参加したいと思います。

【9】熊本地震への支援

共同連の「くまもと障害者労働センター」さんも被害があり、理事会で支援金を送ろうということになりましたが、送り先は、「くまもと障害者労働センター」にカンパを送りました。

また、くまもと障害者労働センターのクッキー・かりんとうなどを仕入れ、販売支援を行いました。

最後に、麦の会として加盟して活動に参加している団体を載せます。

① NPO法人共同連 上記に報告した通り

② みやぎアピール大行動

11/3（木）アピール大行動 エルパーク仙台ギャラリーホール

障害者自立支援法の成立を契機に県内の団体で結成しました。障害種別の枠を超えてより良い制度の実現を目指し活動しています。

年1回の集会とアピール行進を行っています。また、年1回宮城県知事・仙台市長との面談を行い、要望を伝えています。

② 宮城県障害者小規模施設連絡会

県内の小規模事業所の集まり。各種研修会・わくわく音楽会などを行っています。仙台への要望活動を行っています。

⑤ みやぎセルフ協働受注センター

県内の販売事業のまとめ役。各種研修会もを行っています。ナイスハートバザール仙台駅・セルバ販売もセルフ主催です。

衛生管理のコンサルタントもみやぎセルフを通じて紹介してもらい、半額の補助金も頂いています。

⑥ きょうされん・きょうされん宮城支部

きょうされんでは通販サイト「TOMO市」を運営。コッペのクッキーも掲載されています。また、

宮城支部では、きょうされん利用者部会を行い、他の事業所のメンバーとレクレーションを

行ないました。

⑦ 全日本手をつなぐ育成会事業所協議会

親の会の全国組織。色々な情報や販売協力を頂いています。

⑧ せんだいみやぎNPOセンター

⑨ 杜の伝言板ゆるる

上記2つはNPOの支援を行うNPO。NPO関係でお世話になっています。

杜の伝言板ゆるるを通じては、毎年高校生の夏休みボランティア体験を受入れています。